


# 山行報告書

京都田辺山友会

2014/7/25 鈴木正範

山名	北アルプス 北ノ俣岳(2661. 2m)・黒部五郎岳(2839. 6m)					個人山行	
ルート	飛騨市打保、飛越トンネル～寺地山～北ノ俣避難小屋～北ノ俣岳～黒部五郎岳 (ピストン)						
山行日	2014年7月21日(月)～7月23日(水)	登山形態:	テント泊・ピストン	1泊2日1車中泊			
メンバー	鈴木、植西 (2人)						
 <p>(縮尺は合ってません)</p>	地名	時:分	天気	地名	時:分	天気	
	21日(月)			22日(火)			
	京田辺市	S	12:45	晴	起床	4:00	晴
	飛越トンネル	A	19:40	ガス	出発	4:50	
	22日(火)				黒部五郎岳分岐	6:00	
	飛越トンネル	S	5:10	曇	黒部五郎岳	A	6:20
	見晴らし台	P	5:40	曇霧	黒部五郎岳	S	6:50
	(朝食)		6:10	曇	ビバーク地	A	7:30
		S	6:20		ビバーク地	S	7:50
	千人坂	P	6:40	晴	中俣乗越	P	8:00
	打保分岐	A	7:00		赤木岳	A	8:45
	鏡平	A	7:45		北ノ俣岳	A	9:40
	寺地山	A	8:15		飛越新道分岐	A	9:50
	避難小屋	A	9:00		飛越新道分岐	S	10:00
		S	9:50		避難小屋	A	11:15
	池塘(昼食)	A	11:15		避難小屋	S	12:30
		S	11:45		寺地山	S	13:30
	尾根到着	A	12:20	曇晴	鏡池	S	13:50
	北ノ俣岳	A	12:40	晴曇	打保分岐	S	14:30
	赤木岳	A	13:50	ガス	飛越トンネル	A	14:30
	中俣乗越	P	14:30		飛越トンネル	S	14:50
	ビバーク	A	15:30	曇	新田辺	A	21:30

## 山行報告

さてどこまでいけるかと少し無理?な計画

飛越トンネルを早朝出て、五郎の天場にたどれるか!?

82と70のお爺が挑戦。あえなくビバークとなったが、楽しい目いっぱい山行であった。

トンネル到着時はガスが懸ってはいたが明日を期待して、呑み、食い、人生を語らいなんてはしなかったが、気持ちよく車中泊 寒かった。

4時起床5時スタート 曇ってはいたがまずまずの天気。雨にならないことを願いつつ1時間歩いたところで植西さんの奥様の手作り赤飯で朝食とする(美味しかった)

このコースは避難小屋まで泥濘道で名を馳せているが、今日はまずまずの泥道、避けるたびに15kgの荷物が肩に食い込むが先ずは快調に打保の分岐。このころには晴れ間が広がり日が照りだすが西風が心地いい。

避難小屋までのルートは6月には水芭蕉が咲き乱れる池塘に今日はニッコウキスゲが群生していて一面の黄色は鮮やか。ワタスゲの群生は白いひげが一面になびきかわいい。足元には白い岩銀杏が続いている。

予定よりも早く避難小屋に到着。水の補給だけして登りを続ける。途中昼のニギリを頬張り、12時半北ノ俣岳到着。目指す黒部五郎岳、薬師、太郎小屋はよく見えるが対面の立山連山はガスの中。頑張っ先を急ぐ。

途中カナダからの若いペアと落ち合う。彼らは室堂をスタートし、スゴ乗越泊、黒部五郎泊、槍ヶ岳泊、上高地へと縦走している途中。こちらは彼らの若さ(男は24)に感心し、相手は

82の若者?に関心をし、面白いひと時。植西さんは彼女とのツーショットに満足。ワッハッハ  
若者はピッチが速い。こちらは少々疲れ気味。到底小屋は無理と判断しビバークと決める。  
夕焼けはダメだったが水晶岳、鷲羽岳、赤牛岳、薬師のシルエットが美しい。明日の起床は4  
時とし、ありったけの酒を酌み交わす。

荷物が重たいのは酒のせい?夜半寒さに目が覚めたが気が付いたら4時であった。

4時50分出発五郎岳を目指す。空は薄曇り。だが山の同定には十分。途中赤牛連山から日の  
出。雲間から時を過ぎた日の光が輝いて出た。五郎の肩にたどり着くと北アルプスが一望。槍  
の穂先が見事である。そこから20分黒部五郎岳に6時20分到着。360度展望ができしばし休  
憩。

十分堪能し、下山開始 途中残雪を楽しみながらも一気に避難小屋へ。小屋で30分の睡眠。

12時半下山開始

トンネルには14時半到着。田辺へ一目散。十分堪能した山行であった。

ヒヤリハット なし

